レジメン名称：DBd（Dara 皮下注）（ダラキューロ+ボルテゾミブ+デキサメタゾン）多発性骨髄腫

ID　　患者氏名　　様　（性別　　）

身長　　cm　体重　　kg　年齢　　歳　体表面積　　m^2

HBs 抗原（＋　－）　HBc 抗原（＋　－）　HCV 抗体（＋　－）

薬剤	投与量	投与日　1～8 コース目は 3 週間毎、9 コース目以降は 4 週間毎		
		1～3 コース目	4～8 コース目	9 コース目～
		Day 1・・8・・15・・22	Day 1・・8・・15・・22	Day 1・・・・29
ダラキューロ（皮下注）	1800mg/body	↓　↓　↓（毎週）	↓　（3 週毎）	↓　（4 週毎）
ボルテゾミブ（皮下注）	1.3 mg/m^2 1～8 コース目のみ	↓↓ ↓↓ Day1 4 8 11	↓↓ ↓↓ Day1 4 8 11	
デキサメタゾン	80mg/body/週	↓↓↓↓↓↓↓↓ 1～3 コース目　Day1,2,4,5,　8,9,11,12,　15 4～8 コース目　Day1,2,4,5,　8,9,11,12,	↓↓↓↓↓↓	↓ Day1　20mg 内服

75 歳を超える又は過少体重（BMI 18.5kg/m^2 未満）の患者ではデキサメタゾンを 20mg/週で投与することも可。その際はダラキューロ投与前に 20mg を投与。

レジメンオーダ以外に必要な処方

ダラキューロ投与日：デキサメタゾン 20mg (内服)、レスタミン（10）5 錠、カロナール（200）5 錠、モンテルカスト（10）1 錠

　ダラキューロ投与 1～3 時間前に内服

デキサメタゾン 20mg (内服)処方日：上記とは別に下記で投与

　1～3 コース目　 day 2、4, 5, 9、11、12

　4～8 コース目 day 2、4, 5, 8、9、11, 12

必要時：アシクロビル、フェブリク、ダイフェン

注意事項

ダラキューロ

インフュージョンリアクション（気管支痙攣，蕁麻疹，低血圧，意識消失，ショックなど）に注意。

クームス試験に影響を与えるため、ダラキューロの投与をすることを検査科へ連絡してください。

ダラキューロのインフュージョンリアクションの発現中央値は約 4 時間のため、皮下投与終了後 3～4 時間は症状発現に注意すること

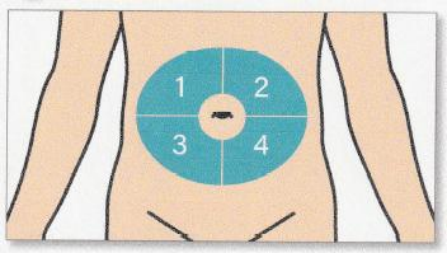
シリンジに分取後、4 時間以内に使用すること。

ボルテゾミブ

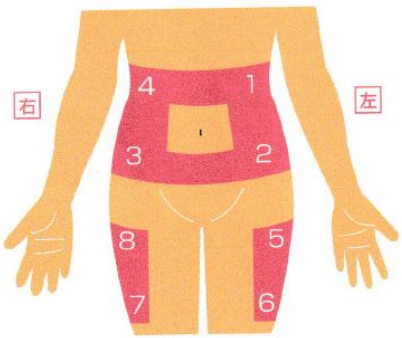
調製後、8 時間以内に使用すること。

（次ページあり）

皮下注部位はローテートすること



ダラキューロ投与部位の例
臍から左または右に約 7.5cm 離れた腹部皮下に投与する



ボルテゾミブ投与部位の例
皮下投与の部位：左右の腹部等に交互に注射するなど、前回と同じ部位への投与は避けること（皮下脂肪組織の萎縮や硬結をきたして、薬液の吸収が悪くなることがある。また皮膚の炎症などを起こす可能性が高くなる）

ダラキューロ投与方法	
1	デキサメタゾン 20mg、レスタミン（10）5 錠、カロナール（200）5 錠、モンテルカスト（10）1 錠　内服
2	1～3 時間空ける
3	**ダラキューロ**　1800 mg/15mL、皮下注 約 3～5 分かけて投与

ボルテゾミブ投与方法	
1	**（臨床試験ではダラキューロの後に投与されていました）** **ボルテゾミブ**＿＿＿＿＿mg，皮下注 皮下注の場合：1V（3mg）あたり生食 1.2mL で溶解し、適量を使用

出水総合医療センター　レジメン管理委員会